

誰ひとり 取り残さない がん対策の 実現へ

日本対がん協会の願いと取り組み

長年、日本人の死因1位と
なっている「がん」。医療
の進歩により治るケースが
多くなっているとはいえ、
「がんは怖い病気」というイ
メージがあるものです。「**が
んで苦しむ人や悲しむ人を
なくしたい**」——そんな願
いから、幅広いがん対策を行っ
ている日本対がん協会。常
務理事の石田一郎さんに、私
たちが知っておくべきこと
をお尋ねしました。

お話を聞いた人



公益財団法人日本対がん協会
常務理事

石田一郎さん

公益財団法人日本対がん協会（以下、日本
対がん協会）は1958年設立以来、大きく「が
ん予防・検診の推進」「がん患者・家族の支援」
「正しい知識の普及啓発」の3つの活動を行
っています。



現代は“がんと共生もできる”時代

日本対がん協会の重要な取り組みのひとつが、電話による無料相談「**がん相談ホットライン**」です。利用者は年間約1万人。「治療方法の相談をされる方はもちろんですが、お金や仕事の心配、家族との関係に悩んで相談してこられる方が多いです。これは医療の進歩によって“がんと共生もできる”時代になったからこそその悩み。がんとともにどう生きていくか、多様な悩みに寄り添っていきます」と石田さんは話します。電話相談では理路整然と話をする人がいる一方で、なかには涙で言葉にならない相談者もいるそうです。

「治療が進歩したとはいえ、依然としてがんのインパクトが大きいので人生の様々なことで相談をいただくことが増えています」

こうしたインパクトを少しでも和らげ、生きる希望と勇気を持ってもらえるように、日本対がん協会の3つの活動の柱のひとつとして「**がん患者・家族の支援**」を行っています。

無料、匿名、予約なしで受け付け
がん相談ホットライン

年末年始を除き、土曜・日曜・祝日も受け付けている電話相談。がん患者はもちろん、その家族や友人など、誰でも利用できます。がんに関するさまざまな悩みに、看護師、社会福祉士、社会保険労務士などの資格を持った相談員が相談をお受けしています。

03-3541-7830 受付／毎日（年末年始を除く）
10:00～13:00、15:00～18:00

※受付日時は変更になる場合があります。事前に日本対がん協会ホームページでご確認ください。

がん予防・ 検診の推進



一次予防の啓発

- ・啓発ツールの制作
- ・禁煙を中心としたアクションの勧め

検診の推進

- ・受診率向上の取り組み
- ・がん検診研究助成
- ・がん検診デジタル無料クーポン

がん患者・ 家族の支援



支える・寄り添う

- ・無料がん相談
- ・がんアドボケート活動助成

医療の発展

- ・若手がん専門医の育成
- ・がん医療に関する研究の助成

正しい知識の 普及啓発



啓発

- ・ピンクリボンフェスティバル
- ・がん教育

関心を高める

- ・がん征圧全国大会
- ・がん征圧スローガン

日本対がん協会

3つの
柱
(一部)

©PIXTA

運命を分けることもあるヘルスリテラシー

多くの情報にあふれる現代。健康や医療においても、正確な知識や情報を持ち、理解して活用できる「ヘルスリテラシー」の重要性が説かれています。

「がん検診を受診して早期にがんが見つかった場合、進行がんで見つかった場合に比べて適切な治療を受け仕事への復帰も早く、費用も少なくて済みます」。

日本対がん協会では、長年「がん検診の推進」に取り組み、がん予防・検診を呼びかけてきました。2020年のコロナ禍では前年より27.4%も受診者が減っていることがわかり※、状況を重く見た日本対がん協会は、がん検診の重要性を呼びかけ、メディアを通じて多くの方の健康を守ることにつながりました。

※肺、胃、大腸、乳、子宮頸の5がん検診の延べ人数。出典：日本対がん協会支部調査より
<https://www.jcancer.jp/news/12832>

がん検診を受けたくても受けられない。 健康格差が悲しみを生んでしまう

「私たちは2009年に全国の小中高校でがんの出張授業を始めています。2021年からは新学習指導要領にがん教育が加わりました。子どもたちは少なからず、がんの知識を持っています。家庭を支えている現役世代への啓発活動も強化しています」

もし病気が見つかったら働けなくなり、収入が減るという不安から、あえてがん検診を受けないケースもあるそうです。結果、進行した状態でがんが見つかり、本人も家族も悲しむことになってしまいます。

「その課題の解決策のひとつとして、23年度からひとり親世帯の親や困窮者支援を受けている方に向け、**無料でがん検診を受診できるクーポン**を届ける活動を始めました。アンケートでは、初めてがん検診を受けたという方も多くいらっしゃいました」

ピンクリボンフェスティバルに こめられているメッセージとは

乳がん検診の受診率向上と患者支援を掲げ、啓発活動を行う**ピンクリボンフェスティバル**。“ブレスト・アウェアネス”＝乳房を意識する生活習慣を推奨しています。そのねらいはなんでしょうか。

「部位別死亡者数では乳がんは女性全体の4位ですが、30～64歳の現役世代では1位(22年度)。仕事をしている方、子育て中の方が多く、社会的な影響が大きい。しかし、早期に発見すれば90%以上の方が治る病気です。日常的に乳房を意識することで変化に自分で気付くことができます。それにこれをきっかけにして、自分の健康に注意を向けるようになることを願っています」

がんになっても生きる勇氣と 希望が持てる社会をめざして――

日本対がん協会のほほえみ基金

乳がんで悲しむ人や苦しむ人をなくすための各種活動は、多くの方から寄せられる“ほほえみ基金”により支えられています。

パルシステム共済連は、「誰一人取り残さないがん対策の実現へ」の考えに賛同し、2025年度の「がんに関する啓発アクション パルシステムグループ全体企画※」では、参加アクション宣言数に応じてほほえみ基金への寄付を行うことになりました。

※次のページをご覧ください。

ほほえみ基金のおもな用途

- がん検診無料クーポン発行
- 10月の乳がん月間中、がん相談ホットラインにがん専門医による電話相談
- ピンクリボン運動での啓発冊子作成、シンポジウム・セミナー開催
- 乳がん検診専門家庭教育の研修(マンモグラフィ撮影技術講習会、乳房超音波技術講習会など)

寄付・遺贈について

日本対がん協会の活動は、ほほえみ基金をはじめ多くの方々の寄付・遺贈によって支えられています。寄付の方法や詳細は、日本対がん協会webサイト「寄付・遺贈について」をご覧ください。

https://www.jcancer.jp/about_donation



©PIXTA

確かな情報を入手するには… がん情報サービス

<https://ganjoho.jp/>

国立研究開発法人国立がん研究センターにより、がん対策基本法に基づいて公平・中立・バランスのある情報が提供されています。



パルシステムとピンクリボン運動

パルシステム共済連は、健康維持活動の一環として「ピンクリボン運動」を重要視し、2012年度から取り組みを開始しました。



こんせんくんも
ピンクリボン運動を応援

2012～2020年 各生協主催で講演会開催

がん経験者を講師として招き、医療従事者とともに講演を行いました。
登壇したがん経験者：麻木久仁子さん、生稲晃子さん、原千晶さん、矢方美紀さん、山田邦子さん(50音順)

乳がん以外のがんへの啓発を広げた
現在の「がんに関する啓発アクション」へ

2021～2024年 オンライントークイベント開催

2021・22年 岸田徹さん(がんノート)
2023年 笠井信輔さん、谷島雄一郎さん(ダカラソククリエイト)
2024年 堀ちえみさん

パルシステムグループの活動例



パルシステム茨城 栃木では、乳がん検診の啓発のため毎年ピンクリボンウォークを実施しています。このイベントにはパルシステム共済連が「福祉・たすけあい助成金」で助成しています。

パルシステムのピンクリボン運動2025 ～わたしの健康維持アクション宣言～

がんに関する
啓発アクション
パルシステム
グループ
全体企画

特設サイトが オープン

期間
限定

2025年10月1日(水)～31日(金)

https://www.palsystem-kyosai.coop/information/20251001_cancer.html

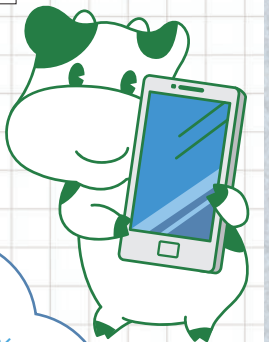
特設サイトは
こちらから
(10月1日リリース)



1 がんに備える3つのアクション+One

- Action 1 「知る」プレスト・アウェアネスってなに？
- Action 2 「やってみる」セルフチェックをやってみよう
- Action 3 「行ってみる」乳がん検診の特徴を知り、検診へ
- +One Action 「踏み出す」わたしの健康維持アクション宣言

アクションの
宣言数に応じて
「**ほほえみ基金**※」
にパルシステム共済連
福祉・たすけあい委員会として
寄付をします
※前ページ左下をご覧ください。



2 がん生活をサポートする お役立ちサイト集

治療についての情報アレコレ
「相談」「居場所」「情報発信」にわけ、
活動やサービスをご紹介

ひとりで
考え込まないで…

3 ピンクリボン運動 ノベルティプレゼント

※応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。

あなたのアクションが
誰かのサポートに！

みなさんの参加を
お待ちしております。

アンケートにご協力ください

パルシステム共済連のホームページでは、『パルシステム共済連通信～びいあらいぶ～』に関するアンケートを実施中です。お答えいただいた方にはもちろん10ポイント進呈！ぜひご協力ください。

<https://web2.mm.pal-system.co.jp/form/pub/com/bealive250940>

※アンケート回答にはオンラインパルへの
登録とログインが必要です。

パルシステムの保障 検索

★トップ画面の「新着ニュース」から
アンケートに回答いただけます。 ★ポイント付与状況はお届け明細書でご確認ください(回答
締め切り日から2～3週間ほどお時間をいただきます)。



アンケート実施期間
9/8(月)～9/21(日)

10
ポイント
進呈

パルシステム共済連ホームページ

「家族の健康レシピ」

パルシステム共済連のホームページでは、毎月、季節に合わせた「健康」に関するコラムと、管理栄養士がおすすめする旬の食材を使ったレシピを紹介しています。9月は「【モロヘイヤ】×【食欲促進】」、10月は「【銀杏】×【風邪予防】」がテーマ。バックナンバーも見られますので、ぜひチェックしてみてください。

<https://www.palsystem-kyosai.coop/navi/>

パルシステム 健康おうえんナビ 検索

情報が
いっぱい！



『びいあらいぶ』の感想 募集！

10
ポイント
進呈

- 右側の宛名部分と記入用紙を
点線にそって切り取ります。
- お手持ちの封筒に宛名部分をしっかりとのり付けしてください。
封筒は郵送に差し支えないものであればどのようなものでも
お使いいただけます。(最大サイズ120×235mmまで)
- 切り取った記入用紙に助成団体へのメッセージや今回の
『びいあらいぶ』の感想をご記入のうえ、宛名を貼った
封筒の中に入れて投函してください。

注意点

記入用紙にある組合員番号、お名前、ご住所、電話番号を必ず
ご記入ください。正確にご記入いただけない場合や提出
期限が過ぎている場合はポイントが付与されないことがあり
ますのでご注意ください。切手は貼らずに投函してください。

※記入いただいた個人情報、パルシステム共済連の個人情報保護方
針のもと管理し、ポイント付与時のご本人確認以外には使用しません。

切手不要！



169-8790

131

受取人
東京都新宿区大久保2-2-6
ラクアス東新宿6階

パルシステム
共済生活協同組合連合会
びいあらいぶ編集委員会
事務局 行

受取人

新宿北局
承認

4274

差出有効期間
2027年6月14日
まで

定形

「びいあらいぶ」の感想
記入用紙

下記を必ずご記入ください。正確にご記入いただけないとポイント付与できない場合があります。

ポイント付与提出期限 2025年9月21日消印有効

組合員番号

フリガナ
お名前

ご住所 (〒)

電話番号